

今日、ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。このかたこそ主キリストです。ルカ 2：11

実に、キリストこそ私たちの平和です。エペソ 2：14

---

先日、毎年3月第1の金曜日に行われる世界祈禱日のプレ集会というのにZOOM参加しました。毎年、超教派で世界中の教会が世界の国々の為に祈る日です。来年パレスチナが予定されています。ZOOMで見たパレスチナは高い壁でイスラエルと分断されていました。パレスチナ人がイスラエル側に行くときには長い列を作って検問所を通過していかなければならないということを知りました。とてもショックだった写真がありました。それは私たちがクリスマスを祝うときに家庭などでも飾る置物（キリスト降誕セット）のナティヴィティです。通常はイエス様を囲んでマリヤ、ヨセフ、羊飼いと動物たちと3人の博士が置かれています。暖かい気持ちになります。が、このナティヴィティでは博士たちと馬小屋の人々との間に高い壁があったのです。全く二つに分けられていました。でも博士たちの顔は壁に向かっているのです。キリストを拝したくても行けないというように。こんな悲しいナティヴィティセットははじめてでした。

数日間の休戦が終了したらガザではすぐに尊い民間人の命が何百と失われてしまいました。憎しみの壁はますます高くなり、悲しみは増し続けます。パウロはエペソ書で「キリストは私たち二つのものを一つにし、ご自分の肉において、隔ての壁である敵意を打ち壊し」とあります。一日も早くキリストの愛と平和と赦しがこの二つの分断された国々の指導者たちと敵意を打ち壊れされますように。平和なクリスマスをこの国の人々が迎えられますように。「戦いより愛し合う世界へ」とCMも呼びかけています。平和の主よ、来たりたまえ。

伝道師 川島正子